

Cente Technical Information

発行番号	101-0104	Rev	第1版	発行日	2019/08/22
題名	メタデータ保護機能使用時、CT_DISK_FULLエラーが発生する不具合について				
情報分類	障害情報				
適用製品	・Cente FileSystem Ver6.10 ~ Ver6.41				
影響API	fwrite, chg_filelen				
関連資料	なし				

【現象】

メタデータ保護機能使用時、以下全ての条件が一致すると、メディアに空きがある状態にも関わらず「CT_DISK_FULL」のエラーが発生します。

《発生条件》

- ①メタデータ保護機能が“有効”の場合。
- ②【影響API】実行時、3クラスタ以上の書き込みが発生した場合。
- ③一度でもファイル削除が行われている場合。

【原因】

メタデータ保護機能を“有効”にした状態で、3クラスタ以上の書き込みが発生した場合、既に使用されているクラスタ位置を参照すると、空きがないと判断してしまう不具合がありました。

空きクラスタの検索には、以下の内部変数を使用しております。

- ・nullfat ... 次の空きクラスタ位置情報の保持
- ・nullfat2 ... ファイルやディレクトリを削除した際にできる空きクラスタ位置情報の保持

空きクラスタの検索は nullfat を参照後、内部テーブルに空きクラスタ位置を保持し、順次空きクラスタかどうか確認する仕様となっており、次のクラスタが既に使用されている場合は、nullfat2 を参照します。
※nullfa2 は空きクラスタの保証がされている為。

nullfat2 参照後、内部テーブルに2つ目のクラスタ位置を確保し、再度空きクラスタを検索しますが、内部テーブルに保持されているクラスタ位置を参照すると、空きクラスタがあるにも関わらず、その時点で全てのクラスタが使用されていると判断してしまい、「CT_DISK_FULL」のエラーを返しておりました。

【回避方法】

■プログラムによる回避方法

修正ソースにつきましては、弊社サポートまでお問い合わせ下さい。

以上